太平洋セメント株式会社

大船渡工場	〒022-0007	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜21-6	TEL.0192-26-2111
本北東東関中関中東東東東北四国東北京東北四国東北四国東	〒112-8503 〒060-0004 〒980-0802 〒108-0073 〒370-0849 〒460-0008 〒541-0051 〒730-0811	東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー(総務部) 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル7F 宮城県仙台市青葉区二日町1-23 アーバンネット勾当台ビル8F 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル18F 群馬県高崎市八島町58-1 ウエスト・ワンビル5F	TEL.03-5801-0333 TEL.011-242-7171 TEL.022-225-1371 TEL.03-3455-5921 TEL.027-330-2111 TEL.052-218-3320 TEL.06-6205-8610 TEL.082-504-8611
九州支店	〒812-0018		TEL.092-263-8450

大船渡工場への交通



工場への所要時間





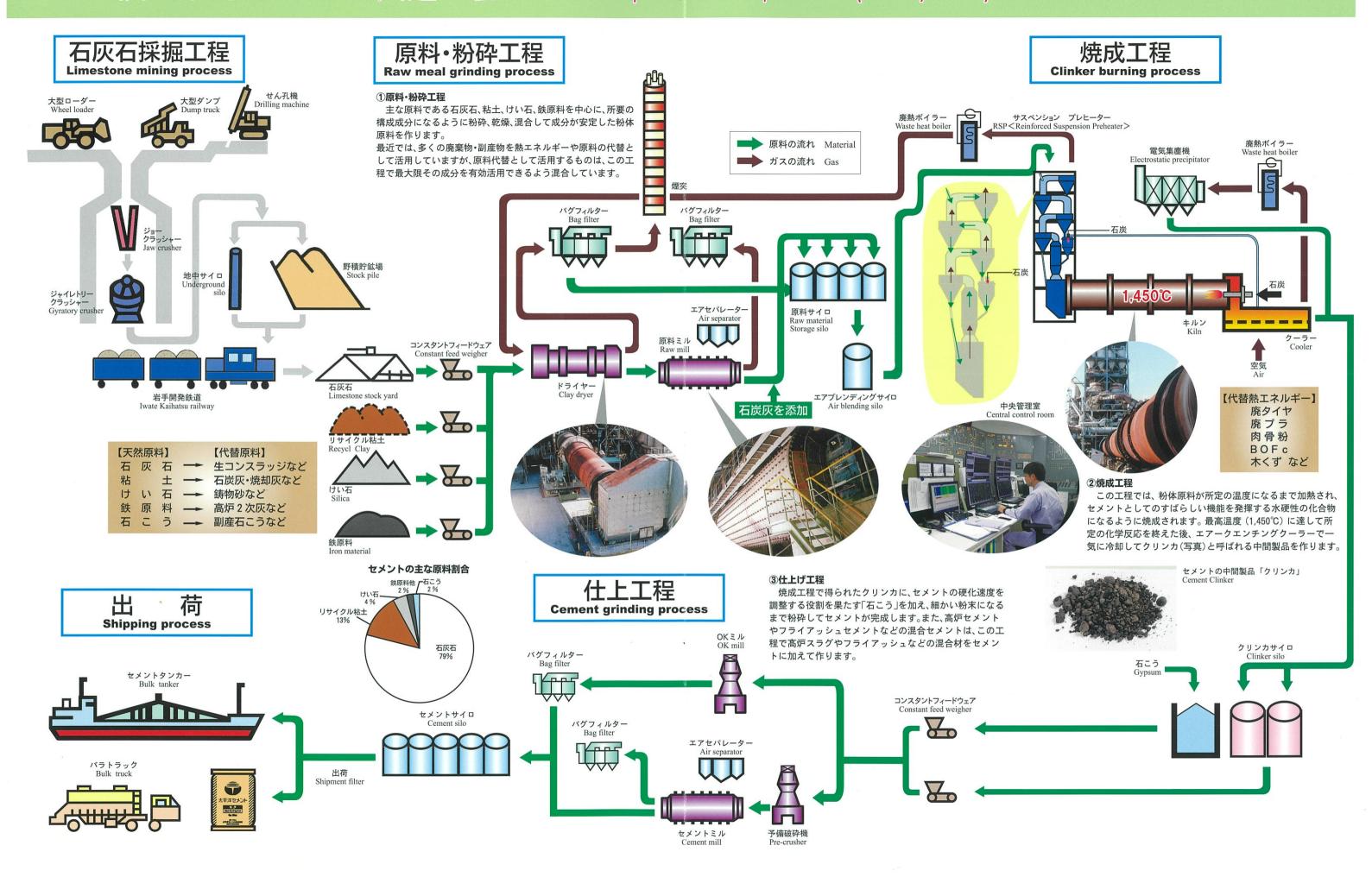


太平洋セメント大船渡工場

PROFILE of OFUNATO PLANT



RSP法によるセメント製造工程 Cement production process (RSP system)



產業廃棄物利用 Recycling of waste

なぜ活用できるの?

- 1. セメントの主成分は、CaO、SiO2、Al 203、Fe203 です。多くの廃棄物は、これらの主成分で構成されているため、原料として活用で きるのです。
- 2. 可燃性廃棄物の未燃分も、セメント原料として活用されるため、二次廃棄物が一切発生しない完全処理システムとなっています。
- 3. 燃焼温度が1,450℃と高温であるため、ダイオキシンなどの有害物質は、キルン内で分解されます。

不燃系廃棄物処理施設



原料工程からの活用が難しく、高温部での無害化処理を必要とする 廃棄物等の処理に活用しています。

有機汚泥処理施設



水分が高く臭気のある汚泥などを原料として活用するために受け入 れしています。

廃プラ処理施設



廃プラスチックや紙類を燃料として利用するために受け入れしてい ます。集まった廃プラなどは、破砕機に投入して細かく破砕して燃 料としています。

肉骨粉トラック受入施設



肉骨粉をトラックで受け入れ、燃料として活用しています。

BOFc 製造設備 (BOF=Biomass & Oily sladge Fuel)



流動性が悪く処理の難しい廃油(廃塗料や廃スラッジなど)と木屑 などを混合し、品質を安定させ代替燃料として活用しています。

2008年と2013年、循環型社会形成推進功労者団体と して「環境大臣賞」を受賞、2010年には従業員個人 が受賞しました。

2009年6月、岩手県産業廃棄物処理業者育成セン ターにより「基準適合産業廃棄物処理業者」優良格 付ランク最高の三ツ星(★★★)に認定され、現在 も継続中です。

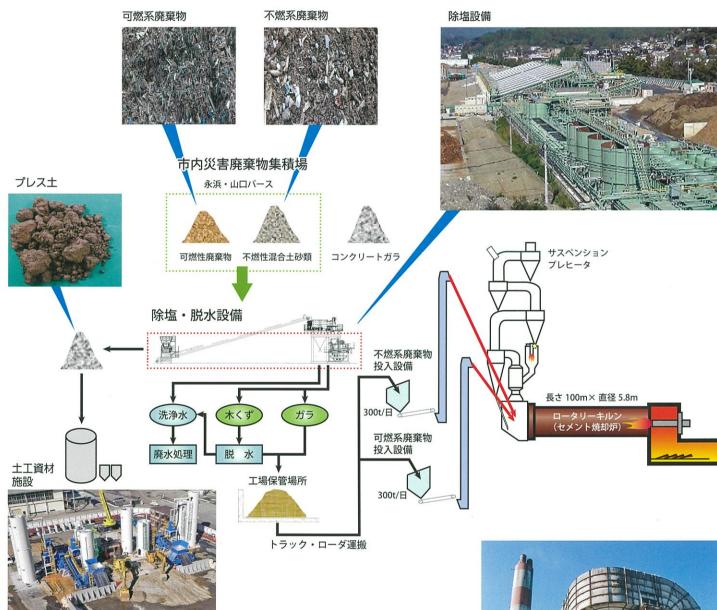
大船渡工場は、セメント工場の特性を生かし、廃棄 物のリサイクル資源化を積極的に推進し、循環型社 会形成に向けてこれからも取組んでまいります。

産廃関係のお問い合わせは、ホームページをご利用下さい。 http://www.taiheiyo-cement.co.jp/oofunato/index.html

廃棄物処理を通した社会貢献事例

- 1. 青森県・岩手県境に不法投棄された産業廃棄物を、当工場が岩手県側の主体となり約70%を処理しました。 処理期間: 2004年10月~2014年3月 処理量: 243千トン(総量358千トン)
- 2. 東日本大震災で発生した災害廃棄物を、大船渡市・陸前高田市・宮古市・大槌町・山田町の3市2町より受け入れ処理 しました。また、土や砂類は改質材と混合し土工資材として沿岸部の土木工事などに活用されました。 受入期間: 2011年6月~2014年3月 処理量: 969千トン

災害廃棄物セメント資源化処理フロー



環境保全 Environmental Conservation

公害防止と環境整備

ばい煙、粉塵、排水、騒音などの公害防止に対しては最新の公害防止設備を 備え、更に当社独自の技術を生かし、常に細心の注意を払って管理していま す。また、工場の内外を通じ環境整備を心がけています。



電気集塵機

